

エコアクション21 環境経営活動レポート



2025年度 会社スローガン優秀賞
気づきと工夫を結び付け みんなで取り組む改善活動



2024年度【活動期間】 2024年04月～2025年03月

発行日：2025年4月22日

大分デバイステクノロジー株式会社

目 次

【1】 環境経営方針	P3
【2】 組織の概要及び対象範囲	P4
【3】 実施体制 & 役割と責任	P5
【4】 環境経営目標	P6
【5】 環境経営活動計画	P7
【6】 環境経営目標と実績	P8
【7】 環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針	P9～13
【8】 環境関連法規等の遵守状況	P14
【9】 環境経営活動パフォーマンス	P15～16
【10】 代表者による全体評価と見直し結果	P17

【1】環境経営方針

環境経営方針

〈基本理念〉

大分デバイステクノロジー株式会社は、半導体関連事業において常に一步先の品質力・技術力・コスト競争力の向上を目指し、「かけがえのない地球環境」を守るため、全社一丸となって世の中の環境負荷低減に努めます。

〈行動指針〉

『エコアクション21』に基づく環境経営システムに則り、環境経営目標及び環境経営計画を定めると共に、下記の項目を設定し必要に応じて見直ししながら、調達から廃棄に至るまで地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目に取り組みます。

- (1) 電力・資源消費に伴う二酸化炭素排出量削減。
- (2) 廃棄物排出量削減とリサイクル推進に努めます。
- (3) 水資源の使用量削減。
- (4) 原材料や事務用品のグリーン製品の購入推進。
- (5) 製品・サービスに関する環境配慮。
- (6) 化学物質の適正管理。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. ホームページ等を通じて環境活動の取組状況を社内外に伝達する。

4. 私たちは、この環境経営方針を実現するため、環境経営目標・活動計画計画を定めると共に全社員に周知し継続的な改善に努める。

制定：2013年08月01日

改訂：2020年04月01日

大分デバイステクノロジー株式会社
代表取締役 安部 征吾

【2】組織の概要及び対象範囲

〈組織の概要〉

1) 名称及び代表者

会社名：大分デバイステクノロジー株式会社

代表者：代表取締役 安部 征吾

2) 所在地

本社工場(第二工場)：大分県大分市大字野津原1660番地

第三工場：大分県大分市大字野津原1608番地

3) 環境管理責任者及び担当者（事務局） 連絡先：097-588-1153

環境管理責任者

取締役

業務統括

事務局

管理グループ

担当者

4) 事業内容

半導体アセンブリ事業、半導体試作・開発サポート事業

5) 事業規模

	全体	第二工場	第三工場
売上高(百万円)	934	—	—
従業員(名)	106	70	36
延べ床面積(㎡)	4,942	2,841	2,101

【注】従業員＝常勤役員、社員、パートなどすべての役職員を含む

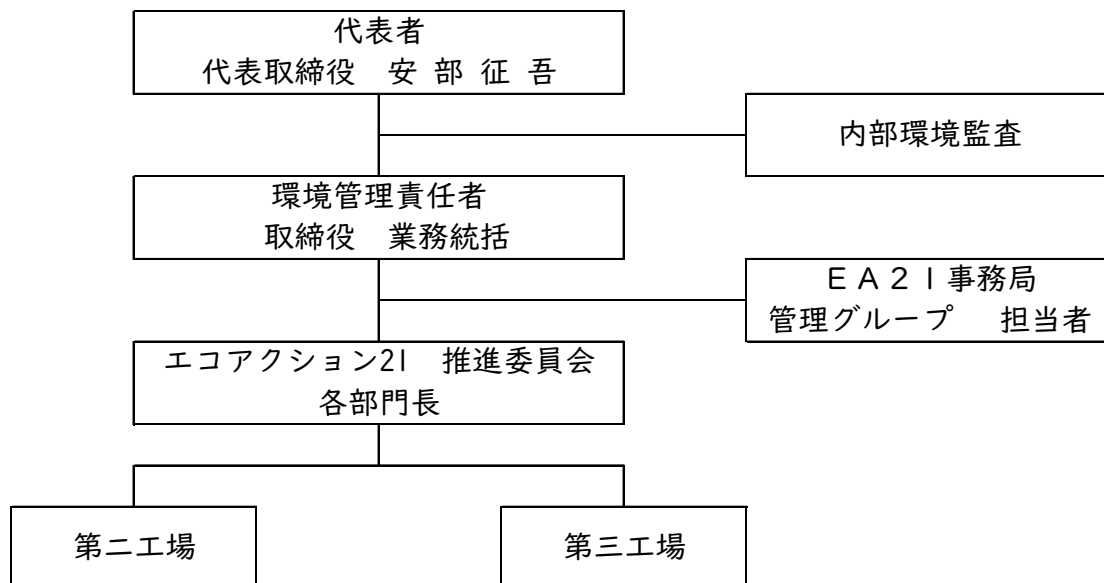
売上高は2024年度、従業員数、延べ床面積は 2025年3月末現在。

6) 会計年度 【期首】8月1日 ～ 【期末】7月31日

7) 環境年度 4月1日 ～ 3月31日

8) 対象範囲 全組織、全事業活動

【3】実施体制 & 役割と責任



担 当	役割 ・ 権限 ・ 責任
代表者	・ 環境経営に関する統括責任者 ・ 環境経営方針を定める ・ 環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境経営活動レポートの承認 ・ 環境経営目標及び環境経営活動計画、実施体制を承認する ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施する ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 内部監査員の任命
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・ 環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・ エコアクション21推進委員会の責任者 ・ 環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・ 環境経営目標、環境経営活動計画、実施体制の確認 ・ 環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・ 問題点の是正及び予防処理の承認 ・ 環境経営活動レポートの確認
事務局	・ 環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・ 環境関連文書、記録の管理 ・ 環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・ 外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・ 環境経営活動レポートの作成
エコアクション21 推進委員会 各部門長	・ 環境経営目標、環境経営活動計画の伝達 ・ 各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・ 環境経営活動に関する意見交換 ・ 自部門における環境経営活動の実施 ・ 目標達成状況を委員会に報告する ・ 自部門に必要な手順書などの作成、管理
全従業員	・ 環境経営方針・目標などの理解と自らの役割を自覚する ・ 自主的、積極的に環境経営活動に参加する

【4】環境経営目標

各年度の対象期間は、04月01日～翌年03月31日

環境方針番号	選択課題		2023年度 (令和5年)	2024年度 (令和6年)	2025年度 (令和7年)	2026年度 (令和8年)
			実績値 基準年度	目標値 △% (基準年度比)		
1	二酸化炭素排出量削減 (Kg-CO2)		1,938,212	1,918,830 △1.0%	1,899,448 △2.0%	1,880,066 △3.0%
	電力消費量削減 (kWh)		4,065,092	4,024,441 △1.0%	3,983,790 △2.0%	3,943,139 △3.0%
	化石燃料 消費量 削減 (L)	A重油	19,760	19,562 △1.0%	19,365 △2.0%	19,167 △3.0%
		ガソリン	2,800	2,772 △1.0%	2,744 △2.0%	2,716 △3.0%
2	廃棄物 排出量 削減 (Kg)	産業廃棄物 排出量削減	16,353	16,189 △1.0%	16,026 △2.0%	15,862 △3.0%
		一般廃棄物 排出量削減	334	331 △1.0%	327 △2.0%	324 △3.0%
3	水使用量削減 (m³)		1,057	1,046 △1.0%	1,036 △2.0%	1,025 △3.0%
4	グリーン購入の推進		資材や消耗品の購入時にはグリーン購入に配慮する			
5	製品・サービスに関する 環境配慮		パワーデバイスの開発			
6	化学物質の適正管理		化学物質を適正に管理する			

※電力の二酸化炭素排出量算出は、九州電力の2022年度CO2調整後係数0.462kg-CO2/ kWh に拠る。

【5】環境経営活動計画

作成日：2013年09月06日

改定日：2022年04月01日

環境方針番号	目標課題		具体的な行動(活動)		対象部門
1	二酸化炭素排出量削減	電力消費量削減	1	デマンド管理（見える化）ツール導入	全部門
			2	工場内照明の節電 LED更新	
			3	空調の適正温度管理 （ 夏季28℃ / 冬季20℃ ）	
			4	空調機フィルターの定期的清掃	
			5	電気受給契約の適正管理	
			6	空調機用フィルタ洗浄（夏季）	
			7	電力使用量の把握と適切管理	
		化石燃料消費量削減	1	A重油の使用量把握と適切管理	
			2	ガソリンの使用量把握と適切管理	
			3	エコドライブの周知	
2	廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量削減	1	分別基準を基に分別指導 （有価値物への転換）	全部門
			2	工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続	
		一般廃棄物排出量削減	1	分別基準を基に分別指導	
			2	工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続	
			3	書類のペーパーレス化	
3	水使用料削減	1	使用量把握と適切管理	全部門	
		2	水回りに節水ラベルの貼付		
		3	配管・蛇口などの目視による漏水定期点検		
4	グリーン購入の推進	1	グリーン商品の積極的購入	全部門	
		2	環境配慮製品の開発・提供		
5	製品・サービスに関する環境配慮	1	パワーデバイスの開発	全部門	
		2	住宅太陽光発電設備 定期点検		
6	化学物質の適正管理	1	化学物質を適正に管理する	全部門	

【6】環境経営目標と実績

【各年度の対象期間は、04月01日～翌年03月31日】

環境方針番号	選択課題		2023年度 (令和5年)	2024年度 (令和6年)		
			実績値 基準年度	目標値 △% (基準年度比)	実績値 % (目標達成率)	評価
1	二酸化炭素排出量削減 (Kg-CO2)		1,938,212	1,918,830 △1.0%	1,758,988 109.1%	○
	電力消費量削減 (kWh)		4,065,092	4,024,441 △1.0%	3,702,214 108.7%	○
	化石燃料 消費量削減 (L)	A重油	19,760	19,562 △1.0%	16,300 120.0%	○
		ガソリン	2,800	2,772 △1.0%	1,852 149.6%	○
2	廃棄物 排出量 削減 (Kg)	産業廃棄物 排出量削減	16,353	16,189 △1.0%	14,168 114.3%	○
		一般廃棄物 排出量削減	334	331 △1.0%	332 99.7%	△
3	水使用量削減 (m³)		1,057	1,046 △1.0%	1,406 74.4%	×
4	グリーン購入の推進		資材や消耗品の購入時にはグリーン購入した			○
5	製品・サービスに関する 環境配慮		パワーデバイス開発に取り組んだ			○
6	化学物質の適正管理		化学物質を適正に管理した			○

評価：○=達成（100%以上）、△=努力した（100%未満～90%以上）、×=未達成（90%未満）
※電力の二酸化炭素排出量算出は、九州電力の2022年度CO2調整後係数0.462kg-CO2/kWhに拠る。

【7】 環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針①

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果 今後の方針	対象部門
I	CO2 排出量 削減	1 デマンド管理（見える化）ツール導入	【取組結果】 ・デマンド監視装置を継続活用。 ・電力受給契約の適正管理。 【今後の方針】 ・今後も電力消費量の削減を継続していく。	全部門
		2 エ場内照明の節電 LED照明更新		
		3 空調の適正温度管理 (夏季28℃/冬季20℃)		
		4 空調機フィルターの定期的清掃		
		5 電気受給契約の適正管理		
		6 空調機用フィルタ洗浄（夏季）		
		7 電力使用量の把握と適切管理		
	化石燃料 消費量 削減	1 A重油の使用量把握と管理		
		2 ガソリンの使用量把握と管理		
		3 エコドライブの周知		

取組I 1-5：電気受給契約の適正管理

1-7：電力使用量の把握と適切管理

デマンド管理（見える化）ツール運用継続と運用定着
 <2025/2/1～契約メニューとデマンド契約見直し
 ➡（21KW減へ）

空調用 真空式温水発生機 更新(2024年4月27日)

空調機更新工事（5台式）(2024年11月3日)



室内機



室外機



【7】 環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針②

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果 今後の方針	対象部門
2	廃棄物排出量削減	産業廃棄物 一般廃棄物 分別基準を基に分別指導(有価価値物への転換) 工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続 分別基準を基に分別指導 工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続 書類のペーパーレス化	【取組結果】 ・ 会議資料は、PDF (電子ビューアー) 及び両面印刷を行った。 【今後の方針】 ・ 今後も廃棄物の定量把握を行い、 分別徹底を行う。	全部門

取組2 2-3：書類のペーパーレス化

書類のペーパーレス化推進

既存、楽々販売ツールのメニュー追加➡「設備調達申請書」

導入展開 (2024年4月～)、電子帳簿推進

【操作】	設備調達申請書	申請番号	固定資産名称	申請日	社属(改造元材料)	アカウントID	購入価格	申込日
	設備調達申請書S-53-009.xlsx	S-53-009	SIP-4PIN DB部品	2025/02/04		田部 清志 (南陽満)		6106
	設備調達申請書S-53-007.xlsx	S-53-007	SIP-4PIN MD部品	2025/01/31		河野 俊 (南陽満)		6106
	設備調達申請書S-53-008.xlsx	S-53-008	SIP-4pin T/F金型	2025/01/30		部 豊隆 (南陽満)		6106

調達申請書 (S-52-024)

申請者: 株式会社 大分デバイステクノロジー

申請日: 2024/04/04

申請内容: 設備調達申請書

申請品名: SIP-4PIN DB部品

申請数量: 1台

申請価格: 6106円

申請理由: 設備更新のため

申請承認: 承認済み

申請承認日: 2024/04/04

申請承認者: 田部 清志

申請承認部署: 経営企画部

申請承認理由: 設備更新のため

申請承認内容: 承認済み

申請承認日: 2024/04/04

申請承認者: 田部 清志

申請承認部署: 経営企画部

申請承認理由: 設備更新のため

申請承認内容: 承認済み

申請承認日: 2024/04/04

申請承認者: 田部 清志

申請承認部署: 経営企画部

申請承認理由: 設備更新のため

申請承認内容: 承認済み

削減

2023年4月～2024年3月
用紙使用量: 139kg



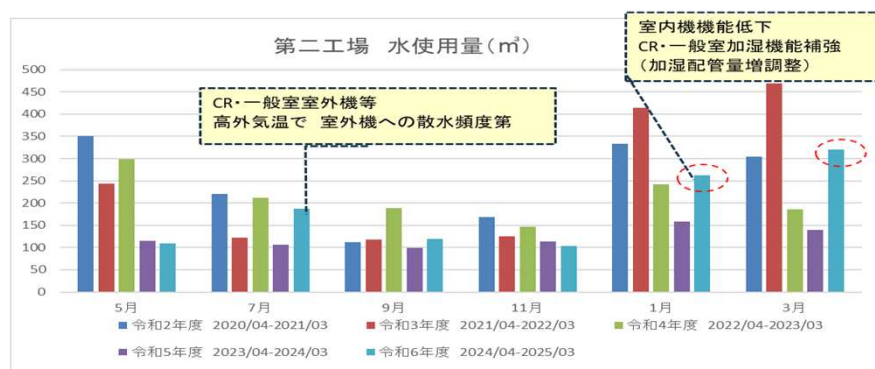
2024年4月～2025年3月
用紙使用量: 123kg

【7】環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針③

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
3	水使用料削減	1	使用量把握と適切管理	【取組結果】 ・空調加湿装置の水使用量削減 ・節水ラベル表示 【今後の方針】 ・使用量を確認	全部門
		2	水回りに節水ラベルの貼付		
		3	配管・蛇口などの目視による漏水定期点検		

取組3：3-1 使用量把握と適切管理

第二工場 水道変化量把握（モニター）及び不具合状況に対する取組み



空調機の室内機機能低下
(加湿ユニット経年劣化要因)
→ 2025年末期に設備更新予定

【7】環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針④

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
4	グリーン購入推進	1	グリーン商品の確認・購入	【取組結果】 ・3社購入での活動を行う 【今後の方針】 ・更なる推進周知を行う	全部門
		2	環境配慮製品の開発・提供		

取組4：4-1 グリーン商品の確認・購入 推進継続



グリーン購入法適合商品

エコマーク商品

FSC®認証製品

エコ商品ねっと掲載商品

【7】環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針⑤

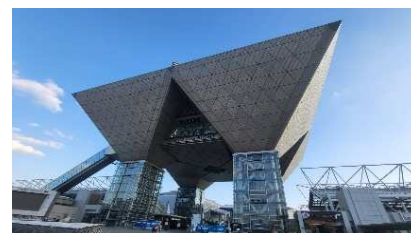
環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
5	製品・サービスに関する環境配慮	1	パワーデバイスの開発	【取組結果】 ・オンライン商談及び来場者への受注活動。 ホームページ毎月更新中 https://www.odt.co.jp/	全部門
		2	住宅太陽光発電設備 定期点検		

取組5：5-1 パワーデバイスの開発



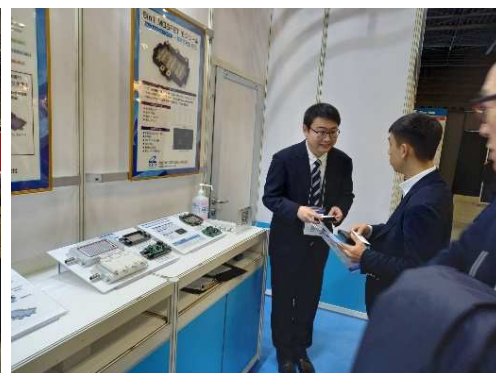
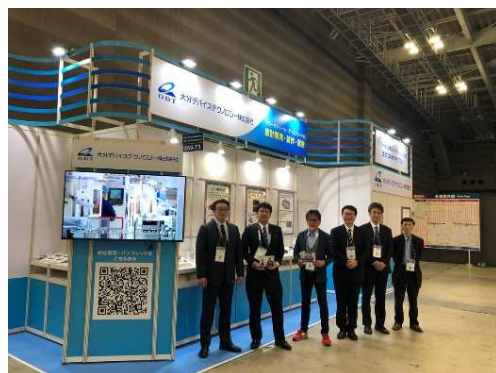
11年連続！ネプコン ジャパン in 東京ビックサイトに出展しました！

1月22日(水)～24日(金)、東京ビックサイトで開催された 第39回ネプコンジャパンに出展しました！
 今年の3日間の来場者数は85,430名！ 昨年比1.10倍と、関心の高さがうかがえます。「AI向け高性能半導体」や「パワーデバイスの活用」など、最先端技術の活況ぶりを実感できるイベントとなりました！
 そうした中で(ODT)ブース(※)には、来場者数が**295人(前年比の1.34倍)**と、ありがたいことに多くのお客様が足を運んでくださいました。ネプコンジャパンは、(ODT)にとって新年最初のビッグイベント！今年も最高のスタートを迎えることができました！



ブース

商談



【7】環境経営活動計画の取組み内容と今後の方針⑥

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果 今後の方針	対象部門
6	化学物質の適正管理	Ⅰ 化学物質を適正に管理する	【取組結果】 ・化学物質の使用時 SDS把握と適正保管 【今後の方針】 ・化学物質の使用知識向上と法令遵守	全部門



取組6：6-Ⅰ 化学物質を適正に管理する

化学物質の含有率は、対象となる製品の容器に記載された成分表をもとに把握すると共に製造元や卸売業者、小売業者にSDS（安全データシート）を要求し適正な保管、環境に配慮した管理を継続している。



保管の状態



【8】環境関連法規等の遵守状況

(1) 遵守すべき関連法規

※適用される主な環境関連法規等は次のとおり。

法律等の名称	当社の対応自主基準	管理責任者 責任部門	評価時期	証拠となる 記録等	適否 要○印
廃棄物処理法	基準に適合した措置 (表示板)	管理 グループ	日常点検	現物監視	適・否 3/21
	委託基準の遵守	管理 グループ	毎年4月	委託契約書 許可証写し	適・否 3/21
	排出部門が記載 ファイルに保管	管理 グループ	毎年4月	産業廃棄物 管理票 (マニフェスト)	適・否 3/21
	毎月1回チェック	管理 グループ	1回/月	産業廃棄物 管理票 未回収報告書	適・否 3/21
	毎年 4月1日～6月30日 の間に提出	管理 グループ	1回/年	交付等 状況報告書	適・否 3/21
浄化槽法	規制遵守 (法定点検)	管理 グループ	1回/年	届出控	適・否 3/21
	専門業者に委託	管理 グループ	1回/年	点検・検査記録	
騒音規制法	規制遵守 (コンプレッサ7.5kw以上)	管理 グループ	1回/年	届出控	適・否 3/21
消防法	規制遵守 (消防設備点検)	管理 グループ	1回/年	届出控	適・否 3/21
電気事業法	規制遵守 専門業者に委託し、 法定自主検査実施	管理 グループ	1回/年	自主点検記録	適・否 3/21
フロン排出抑制法	エアコン室外機の 自主定期点検 (廃棄時の適正処理)	管理 グループ	4回/年	自主点検記録	適・否 3/21

(2) 環境関連法規制の遵守状況

チェックリストにより運用期間の法令違反無し、過去3年間関連機関からの指導無し、
訴訟も無し。

【9】環境経営活動パフォーマンス

取組1：異常対応訓練（総合避難訓練）

2024年度__総合避難訓練

全社一斉の総合避難訓練を11月21日(木)に実施しました。防災マニュアルをベースとしながら、それぞれ担当別にシミュレーションを行い、

また役割を確認しつつ避難経路の確認と誘導を徹底して行いました。更に負傷者の搬送講習と消火訓練も実施し、より実践的な構成となりました。

このような訓練を通して、少しでもパニック状態を抑制(軽減)できるよう各々が意識し、また避難経路(自分の逃げ道)の確保ができるよう

常日頃から冷静に行動できるよう備えることが大切だと感じました。



避難誘導



人員点呼/総評



初期消火の消火訓練

取組2：日本赤十字社 献血の協力

大分県赤十字血液センターから依頼があり、4月16日(水)に献血バス来社しました！
少子化の進展による献血可能人口の減少と高齢化に伴う輸血医療の増加から、若年層の献血推進が益々重要となっています。

当日は有志9名による移動献血に貢献、無事に終了しました。



血圧測定中



問診中



献血車両

取組3：大分県立大分工業高等学校の2年生が職場体験実習

9月11日(水)～9月13日(金)3日間に渡って、大分県立大分工業高等学校 電子科から3名(※)の学生さんが実習にきました。

普段見ることができないものづくりの現場に入り、製造現場の空気を肌で感じてもらうことが出来ました。

今後も地元学校との結びつきの場を増やしていきたいと思います。



会社概要説明①



昼食会



昼礼参加



品質 座学



会社概要説明②



Wire通し実習

【10】 代表者による全体評価と見直し結果

	項 目	修正 有無	評価コメント
1	環境経営方針の見直し	無	環境経営方針の見直し無し。
2	環境経営目標	無	現時点で活動目標は追加しない。
3	環境経営活動計画	無	環境経営活動計画については中期経営計画と実績を踏まえて検討する。
4	環境に関する組織	無	現時点での活動（EA推進委員会）に問題は無いと判断する。
5	環境関連法規制の遵守状況	無	運用期間の法令違反なし、また過去3年間、関連機関からの指導等も無し。
6	化学物質の適正管理	無	化学物質使用時のSDS入手と適正保管遵守。

<全体評価>

2021年以降より継続の環境経営目標に対しての今期実績の最終結果は、大項目6項目に対して5項目達成。

未達成項目は、水使用量削減の項目となった。

二酸化炭素排出量削減のA重油削減/電力消費量削減(kWh)については、設備機器類更新の効果が大きく反映された実績となる。廃棄物排出量削減の産業廃棄物については、生産量が前年と比較して1割強減少に伴い間材調達も減少傾向、梱包資材等の廃棄物も減少となった。グリーン購入の推進、製品・サービスに関する環境配慮、化学物質の適正管理については、継続した環境経営への行動（活動）が定着結果となった。

<今後の取り組み>

環境経営の活動としてのエコアクション21取組みが11年目となりました。

世界的規模で『脱炭素』『環境経営』『季節変動』等々への問題意識が高まっており『再エネ電気』への転換が増えています。AIの活用で今後もエネルギー電力が不足する予測となっており、半導体製品のモノづくり事業を介して環境負荷低減へ貢献します。

2025年4月22日

大分デバイステクノロジー株式会社
代表取締役 安部 征吾